

グループワークの概要

【コーディネーター】

千葉大学大学院 看護学研究科 教授 宮崎美砂子 先生

【ファシリテーター】

国立保健医療科学院 健康危機管理研究部 上席主任研究官 奥田博子 先生

千葉大学大学院 看護学研究科 井口紗織 先生

グループワークの方法

○出席者が27グループに分かれて演習・グループ共有を行った。

また、グループ共有でも解決しなかった事項について、質疑応答を行った。

テーマ：災害時の対応力を高める研修の企画・実施・評価の実践

内容：演習 ステップ1「研修のニーズのアセスメント」

ステップ2「研修の目標の設定」

ステップ3「研修プログラムの構成及び方法の検討」

ステップ4「研修の評価計画の立案」

グループ共有 ステップ1～4について、グループ内で共有

演習に対するリフレクション 個人のリフレクション及びグループ内で情報交換

質問事項

○ステップ1～2

Q.本研修の受講対象者は「統括保健師」となっているが、統括的な立場にある係長級の保健師も対象に含めて構わないか。

⇒構わない。係長級の保健師の中には次期統括保健師も含まれていると考えられるため、積極的に含めてほしい。

Q.統括保健師のための災害時のコンピテンシーの項目が多く、研修の組み立てが難しい。

⇒研修の受講対象者を考えた時に、深めてほしい・できるようになってほしいと思う項目を、数多く選択してほしい。選択した複数の項目を眺め、関連する項目は何かを見ながら、何を研修のテーマとたらいよかに繋げて検討してほしい。

Q.受講対象者のコンピテンシーの到達度の考え方が難しい。

⇒まずは、到達度のレベルとして「理解(できる)」、「意識化(意識できる)」、「行動化(行動できる)」のどこを目指すか考えてほしい。

Q.受講対象者の背景(自治体の人口規模やコンピテンシーの到達度等)が様々であるため、どこに焦点を当ててコンピテンシーの項目を組み立てればよいかわからない。

⇒受講対象者の背景が様々であるのは当然のことである。全体を包括的に焦点をあてるか、背景の差の違いに焦点を当てるのか、共通の項目に焦点をあてるかは検討してほしい。

○ステップ3～4

Q.重要となるコンピテンシーの項目が複数ある場合は、どのように研修を企画すればよいか。

⇒災害のフェーズが移行するとともに、必要なコンピテンシーも変化していく。柔軟に活用してほしい。

Q.受講対象者の評価の仕方を教えてほしい。

⇒基本的に研修の評価は受講対象者自身の自己評価とする。専門職は、自分で気づき、考え、行動できることが重要であり自己評価の力をつけることが大事である。自己評価のための方法として、リフレクションを活用してほしい。

発表

3自治体が以下の内容について発表を行った。

- 研修のニーズのアセスメント
 - ・統括保健師の現状や問題点
 - ・受講者の背景情報
 - ・受講者のコンピテンシーの現状・受講者のニーズ
- 研修の目標の設定
 - ・焦点を当てるコンピテンシー(領域・区分・項目)
 - ・研修により期待するコンピテンシーの到達度(理解、意識化、行動化の程度)
- 研修プログラムの構成及び方法
 - ・事前学習
 - ・集合型対面学習
 - ・事後の方向付け
- 研修の評価計画の立案
 - ・受講者のコンピテンシーの到達度の評価の計画(理解、意識化、行動化の到達度)
 - ・研修の評価の計画(受講者の反応・満足度、修得した知識・技術・態度、実践に戻り行動化した内容、職場等の環境に影響を与えた内容に対する成果)

講評

【奥田先生】

- ・統括保健師の位置付け、組織体制の問題も一緒に共有できていた。
- ・予算の問題もあるため、研修の企画は難しいだろうが、必要性を踏まえて検討してほしい。
- ・研修の企画を管理期の保健師ではなく中堅期の保健師が担当することもあると思う。その際は、統括保健師の立場で企画の助言をしてほしい。
- ・ツール(災害時のコンピテンシーチェックシート)を使用することで受講対象者の課題を客観的に可視化することが可能となる。それはまた、受講対象者の強みも可視化されることになるため、研修のテーマを明確にし、なぜ研修を受講するか意識化してほしい。

【井口先生】

- ・統括保健師のための災害時のコンピテンシーチェックは、統括保健師の能力や現状、体制整備の課題のアセスメントができるツールとしても活用できる。
- ・それぞれの自治体の体制や現状には様々な課題があると思うが、それらの課題に対し統括保健師の立場からどのような働きかけや考えができていくかというリフレクションにつなげられるとよい。
- ・災害が起こった時に統括保健師自身が現場に駆け付けられない場合は、誰もが統括保健師になる可能性があることを意識して、その立場や役割を理解してもらい経験を重ねていくことが大切である。

総評

【宮崎先生】

- ・研修受講対象者の現状と地域の実情を踏まえて研修を企画することが大切である。
- ・今回の演習のステップ2～3が研修のベースとなる。研修を企画するために、受講対象者の現状や課題を日頃から情報収集してほしい。
- ・統括保健師は「考える力」、「決断する力」が重要である。これを訓練するには、演習で実施したりフレクションが役に立つ。リフレクションで得たことを自分の役割に繋げてほしい。